

育児休業中も職場とのつながりを実感

株式会社東武百貨店 船橋店

企業概要

設立：昭和52年（1977年）
所在地：千葉県船橋市
事業内容：百貨店事業
従業員数：706人
（男性241人、女性465人）
一般事業主行動計画の策定 有



取組のきっかけ

- 育児休業制度の導入は昭和58年。女性の多いデパートだからこそ、いち早く制度を充実させることが求められた。
- また、季節や流行、顧客ニーズの変化にあわせ、扱う商品や売り場のレイアウトが変わるデパートでは復帰後、職場環境にすぐ適応するため、平成5年から「育児休職フォローアップ」プログラムがスタートした。

取組状況

- 育児休職フォロープログラム
 - ① 在宅講習と情報提供
月1回、社内報等のお知らせを休職者に送っている。また、自宅で通信教育を勉強する（会社概要や企業理念の確認、販売実務に関すること、その他一般常識など）。テスト用紙には通信欄があり、会社と休職者とのコミュニケーションに役立っている。
 - ② 職場復帰前講習
職場復帰1ヶ月前に復帰後のスケジュールを確認する。
 - ③ 職場復帰後講習
復帰後1週間にわたり、育児休業中に変更されたことの確認、POSオペレーションの操作訓練などを実施。
- 短時間勤務制度
短時間勤務が細かく設定されており、子の成長にあわせて勤務時間を選択できる。

社員の声

- 休職中も職場のことを知ることができ、安心しました。子どもの世話をしながら通信教育の課題に取り組むのは正直大変。でも結局は自分のためですから、子どもの寝ている間に一気に勉強する習慣を身につけて頑張りました。

効果と課題

- 社内の情報を毎月自宅に送ることにより、自宅に居ながら会社の情報が把握でき、育児休職者が安心して子育てに取り組めるようになった。
- 休職からの復帰をプログラム化することによって、現職復帰が1週間程度で可能になった。また、全体のスケジュールを設定することで、会社側も事務手続等が容易になった。
- 子供が小学校4年生に達するまで短時間勤務が取得できるなど、制度面でも充実しているため、仕事と育児を両立する女性社員が増えた。